



漁海況通信

長崎県総合水産試験場 漁業資源部 海洋資源科
〒851-2213 長崎市多良町 1551-4 電話 095-850-6304 FAX 095-850-6346
ホームページアドレス <https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>

令和3年度 第2回対馬暖流系マアジ・さば類・いわし類長期漁海況予報

令和4年3月24日に開催されました、第116回対馬暖流系アジ・サバ・イワシ長期漁況海況予報会議で長期予報をとりまとめましたのでお知らせいたします。

(参画機関：水産研究・教育機構、漁業情報サービスセンター、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県)

令和3年度 第2回 対馬暖流系マアジ・さば類・いわし類長期漁海況予報 本文

今後の見通し(2022年4月～9月)

海況

(1) 海流

薩南海域における黒潮北縁域は、「屋久島南付近での変動」もしくは「接岸傾向」で経過する。

(2) 表層水温

東シナ海から九州(山口県・沖縄県を含む)沿岸域にかけての表層水温は、全般的に「平年並み～やや高め」で経過する。

※引用符「 」で囲んで表した平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり。

「やや」：約3年に1回程度の発生頻度、「平年並み」：約2年に1回程度の発生頻度

漁況

(1) マアジ

<東シナ海>

*来遊量：沖合域は前年・平年並み、沿岸域は前年・平年を上回る。

*漁期・漁場：期間を通して、対馬沖、東シナ海中・南部、沿岸域が漁場となる。

*魚体：15～25cmの1歳魚(ゼンゴ・小・中銘柄)が主に、5～15cmの0歳魚(豆・ゼンゴ銘柄)と25cm以上の2歳魚以上(中・大銘柄)も漁獲される。

<日本海>

*来遊量：前年並み、平年を下回る。

*漁期・漁場：期間を通して、日本海西部が漁場となる。

*魚体：15～22cmの1歳魚(ゼンゴ・小銘柄)が主に、5～15cmの0歳魚(豆・ゼンゴ銘柄)と22cm以上の2歳魚以上(小・中・大銘柄)も漁獲される。

(2) マサバ

<東シナ海>

*来遊量：沖合域、沿岸域とも前年・平年並み。

*漁期・漁場：期間を通して、東シナ海中・南部、五島西、対馬沖、沿岸域が漁場となる。

*魚体：漁期前半は26～32cmの1歳魚(豆・小銘柄)と33～35cmの2歳魚(小銘柄)が、漁期後半はさらに25cm以下の0歳魚(豆銘柄)が主に漁獲される。

<日本海>

*来遊量：前年並み、平年を下回る。

*漁期・漁場：期間を通して、日本海西部～中部が漁場となる。

*魚体：漁期前半は26～32cmの1歳魚(豆・小銘柄)と33cm以上の2歳魚以上(小・中銘柄)が、漁期後半はさらに25cm以下の0歳魚(豆銘柄)が主に漁獲される。

(3) ゴマサバ

<東シナ海>

*来遊量：沖合域は前年・平年並み、沿岸域は前年並みで、平年を下回る。

*漁期・漁場：期間を通して、東シナ海中・南部、対馬沖、鹿児島県の沿岸域が漁場となる。

*魚体：沖合域では15～28cmの0歳魚(豆銘柄)および28～32cmの1歳魚(小銘柄)が主に漁獲される。沿岸域では28～37cmの1歳魚以上(小～中銘柄)が漁獲される。

(4) マイワシ

<東シナ海>

*来遊量：前年・平年を下回る。

*漁期・漁場：期間を通して、長崎県以南の沿岸域が漁場となる。

*魚体：漁期前半は主に15～19cmの1歳魚に2歳以上が混ざり(中・大羽銘柄)、後半は15cm以下の0歳魚(小・中羽銘柄)が主体となる。

<日本海>

*来遊量：前年・平年を上回る。

*漁期・漁場：漁期前半に日本海西部～中部、後半に日本海西部の沿岸域が漁場となる。

*魚体：漁期前半は16～22cmの1～3歳魚(小・中・大羽銘柄)主体に、後半は5～12cmの0歳魚(小・中羽銘柄)が漁獲される。

(5) ウルメイワシ

<東シナ海>

*来遊量：前年・平年並み。

*漁期・漁場：漁期の後半が漁獲の主体となる。長崎県以南の沿岸域が漁場となる。

*魚体：漁期前半は15cm以上の1・2歳魚(中羽・大羽銘柄)が、漁期後半は5～15cmの0歳魚(小羽・中羽銘柄)が主に漁獲される。

(6) カタクチイワシ

<東シナ海>

*来遊量：前年・平年を下回る。

*漁期・漁場：期間を通して、山口県及び長崎県以南の沿岸域が漁場となる。

*魚体：5～10cmの0歳魚(カエリ・小羽・中羽銘柄)が主体で、10cm以上の1歳魚(大羽銘柄)が混じる。

注：「前年」は2021年4月～9月。「平年」は過去5年の平均値。「並み」はCPUE等指標値の±20%の範囲。沖合域とは大中型まき網が操業する対馬周辺から東シナ海。